

第42回全日本ライフセービング選手権大会 チーム参加募集要項

全日本2016

チーム1次要項

第42回全日本ライフセービング選手権大会
実行委員会

■日程会場

- | | | |
|----------------------|-----------------|--------------|
| ①中部地区予選会 | 9/3(土)・9/4(日) | 静波海岸(静岡県) |
| ※第3回中日本ライフセービング選手権大会 | 9/4(日)PM | |
| ②西日本地区予選会 | 9/10(土) | 南紀白浜海岸(和歌山県) |
| ③東日本A/B地区予選会 | 9/17(土)・9/18(日) | 御宿海岸(千葉県) |
| ④本選 | 10/8(土)・10/9(日) | 片瀬西浜海岸(神奈川県) |

- | | |
|-------|------------------------|
| ■主催 | 特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会 |
| ■後援 | 調整中 |
| ■特別協賛 | 第一三共株式会社(予定) |
| ■協賛 | 調整中 |
| ■協力 | 調整中 |

■競技種目 [個人種目]

- 01 サーフレース(女)
- 02 サーフレース(男)
- 03 サーフスキーレース(女)
- 04 サーフスキーレース(男)
- 05 ボードレース(女)
- 06 ボードレース(男)
- 07 オーシャンウーマン
- 08 オーシャンマン
- 09 ビーチフラッグス(女)
- 10 ビーチフラッグス(男)
- 11 ビーチスプリント(女)
- 12 ビーチスプリント(男)
- 13 2kmビーチラン(女)
- 14 2kmビーチラン(男)

[チーム種目、BLSアセスメント]

- 15 レスキューチューブレスキュー(女子4名1チーム)
- 16 レスキューチューブレスキュー(男子4名1チーム)
- 17 ボードレスキュー(女子2名1チーム)
- 18 ボードレスキュー(男子2名1チーム)
- 19 オーシャンウーマンリレー(女子4名1チーム)
- 20 オーシャンマンリレー(男子4名1チーム)
- 21 ビーチリレー(女子4名1チーム)
- 22 ビーチリレー(男子4名1チーム)
- 23 BLSアセスメント(2名1チーム抽選により選出)

- ◇ (下線)は、予選会を行う種目です。
- ◇ 個人種目において、前年2015年度「第41回全日本ライフセービング選手権大会」上位1~8位に入賞した選手は、入賞した種目の予選会でのレースを免除します。ただし、予選会免除者としての申請がない場合は、予選会からの出場となります(申込用紙に入力する際にご注意下さい)。

- ◇ チーム種目は各チームから1チームのみのエントリーとします。
- ◇ BLS アセスメントはエントリー制となります（予選会では行わず、研修会を実施する予定です）。この競技に参加しないチームは、チーム総合の表彰対象となりませんのでご注意ください。
- ◇ BLS アセスメント詳細に関しては、後日、要項を送付いたします。

■**競技規則** 競技規則 2014 年版に則って実施します。

■予選会

予選会につきましては、下記の通り指定された地区予選会に出場して下さい。

- ◇ 東日本は、A および B の 2 つの地区に分かれています。ご注意ください。
- ◇ クラブのエリア分けは、クラブの主たる活動の拠点がある都道府県とします。
- ◇ エリア分けについては、下記のとおりとします。

1. **東日本A地区** （千葉、茨城、栃木、群馬、埼玉）
2. **東日本B地区** （東京、神奈川、山梨）
3. **中部地区** （静岡、愛知、三重、岐阜）
4. **西日本地区** （富山、石川、福井、京都、滋賀、大阪、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、岡山、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知、長野）
5. **全エリア選択可能地区** （新潟、北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄）

■本選出場枠

本選出場枠については、下記の通りとします。

- ・本選出場数について、各種目において決勝、準決勝、予選等の設定から人数を割り出す。決勝、準決勝、予選等の設定については、各種目の予選会エントリー数や種目の特性を鑑み設定する。

<例>

種目A 決勝 15 名、準決勝 45 名（1H15 名×3H、5UP）、予選 135 名（1H15 名×9H、5UP）
本選出場 135 名

- ・各予選会での本選出場枠について、本選出場数を各地域の種目エントリー数にて割合を均等化する。均等化出来ない場合は、近づける。また、エントリー数が1以上あれば、均等化にかかわらず最低1は与えられる。予選免除者からエントリーが出た場合は、本選出場数からマイナスされ均等化される。

■タイムテーブル

参考までに、2015 年度実施版のタイムテーブルを掲載します。

詳細は、エントリー集計後の 2 次要項でお知らせいたします。予選会は、例年通り本選出場者を決定する大会として決勝は行いません。

■得点と表彰

本選では、各競技上位 1～8 位を入賞とします。1～3 位はメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位 1～8 位を入賞とし、1～3 位は表彰状を授与し表彰式で表彰します。

なお、ライフセービングチーム最優秀の証として、総合優勝チームには日本ライフセービング協会理事長杯が贈られます。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム種目とも同じ得点とします。なお、同種目に同じチームの選手が入賞した場合も以下の通り得点が加算されます。ブロッキングシステムは採用しません。配点は以下の通りです。

1 位—8 点、2 位—7 点、3 位—6 点、4 位—5 点、5 位—4 点、6 位—3 点、7 位—2 点、8 位—1 点

1. チームの総合得点が同点の場合 2 は、1 位の種目の多いチームを、1 位の種目が同数の場合は、2 位の種目の多いチームを・・・というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は 0 点とします。
3. 総合順位は、実施種目の 70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

■審判員の選出

予選会への参加チームは以下のとおりに認定審判員を、チームエントリーと同時に選出しなければなりません。認定審判員を選出していないチームはエントリーが受け付けられません。

また、2日間を通じて参加できることを原則とし、例外的に参加日ごとに審判員が入れ替わることも可能とする。しかしその場合も、交通費は1名分（上限5,000円のみ）と致します。

なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代わりの方を選出してください。

選出人数については、下記のとおりとします。

【中部地区予選会・西日本地区予選会】

◆選手 5～20名=1名 ◆21～40名=2名 ◆41名以上=3名

【東日本地区予選会A・B】

◆選手 5～15名=1名 ◆16～30名=2名 ◆31名以上=3名

【本選について】

本選においては、審判員選出の規定は適用されません。（※ご希望の方は、任意でお申込下さい）

【申込み】

別紙の審判員募集要項を確認の上、「審判員・スタッフ参加申込書」を提出してください。

■外国人選手（日本国以外に国籍を持つ者）の出場登録について（詳細別紙参照）

以下の条件を満たす外国人選手は国内クラブの一員として1クラブにつき2名まで出場登録を認めます。

- (1) 大会参加規定に準じていること
- (2) ILSに加盟している出身国代表組織の承認書を提出すること
- (3) 国内出場クラブ長の承諾書を提出すること ※ホームページに掲載

※原則として、(2)(3)の書類提出期限は、参加申込と同様とさせていただきます。

■エントリーについて

- ◇ 予選免除者であっても、予選会のエントリーが必要です。
※予選免除者の「参加申込データ（B）」への入力は「3」ですのでご注意ください。
- ◇ 予選会にエントリーせずに本選会のチーム種目に出場（エントリー）することはできませんので、本選会のみチーム種目に出場する予定の選手も、予選会にエントリー下さい。
- ◇ 世界大会（オランダ大会）の日本代表選手で、所属するクラブが中部地区予選会と西日本地区予選会に出場する選手は、前年2015年度「第41回全日本ライフセービング選手権大会」上位1～8位に入賞していない選手であっても、予選会を免除いたします。
※「参加申込データ（B）」への入力は「5」ですのでご注意ください。
- ◇ 第8回全日本ユースライフセービング選手権大会【高校生の部】のサーフレース・ボードレース・ビーチフラッグスに出場し、1位～8位までに入賞した選手においては、本大会に出場することができます（但し、入賞した種目のみで、チーム種目は不可）。

■参加費

- ◇ 東日本A・B予選会/西日本予選会/中部地区予選会
選手1名につき6,000円（高校生・中学生については選手1名につき2,500円）とします。
なお、個人種目のエントリーは選手1名につき2種目までとします。（チーム種目、BLSアセスメントはこの限りではありません。）
なお、予選免除者であっても、エントリー費が必要です。
- ◇ 本選会
本選に参加するチームは（予選免除者も含む）、選手1名につき4,000円（高校生・中学生については、2,000円）が必要となります。
チーム種目については、1種目につき4,000円が必要です。（高等学校が参加するチーム種目については1種目につき2,000円）
- ◆ 申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。
但し、8月20日（土）申込締切時にエントリーされている（選手登録している）方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。

また、変更手数料として、1つの変更につき、3,000円（※高校生・中学生一律）の手数料を頂戴いたします。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。

期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。

例： 種目を1つ変更＝＋3,000円 種目を2つ変更＝＋6,000円

- ◇ 出場種目の変更申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されません。
- ◇ 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも、変更手数料は返還されません。

■宿泊/食事

- ・中部地区予選会（第3回中日本選手権大会）

【宿泊】牧之原市観光協会に別紙にて直接お申込み下さい。

【食事】牧之原市の協賛により、

9/3（土）の昼食：参加選手全員（エントリー名簿分）にお弁当が提供されます。

9/4（日）の昼食：海の家で各チームご購入下さい。（一律 ¥500-/各チーム負担）

※持ち込んだゴミについては、海の家では捨てず、必ず各チーム持ち帰り下さい！

- ・西日本地区予選会

【宿泊】宿泊は下記の組合等がご紹介いたします。お問合せ下さい。

○白浜温泉旅館協同組合 Tel：0739-42-2215

○白浜温泉公認民宿組合 Tel：0739-43-3534

【食事】各チームで用意ください。

- ・東日本地区予選会

【宿泊】御宿町観光協会に別紙にて直接お申込み下さい。

【食事】各チームで用意ください。

■代表者会議

競技上の注意事項や大会に関わることについて説明をする代表者会議を開催します。詳細につきましては2次要項でご案内します。チーム代表者は必ずご出席ください。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加選手で代表者に準ずる方の出席をお願いします。

■ラッシュガードの着用について

公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目におけるラッシュベストの着用は義務となります。

ラッシュベストの着用なしでの参加は認められません。

（以下、案内は続きます）

■ 申込締切日（チーム、審判員）

<予選会>

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
データ/書類	●チーム/選手エントリーデータ (チームエントリーフォームA・B・C)	メール	8月20日(土)24:00受信分まで
	●キャップ申請書 ※新規/変更 (チームエントリーフォームキャップ申請書)		
	●同意書 (チームエントリーフォームD)	郵送	8月20日(土)当日消印有効
	●PR アンケート		
	●外国人選手出場登録 ※該当者のみ		
	●審判員申込用紙	郵送またはメール	8月20日(土)24:00受信分(メール)、 8月20日(土)当日消印有効(郵送)
	●(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の 申込エクセルデータ	メール	8月24日(水)事務局からの エントリーリストのメール受信 時～8月28日(日)24:00 受信分
振込	●予選会参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、手続き下さい	8月20日(土)当日消印有効
	●選手の個人年会費 (2016年度 正会員 or 一般会員)	http://www.jla.gr.jp/home.htm 「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	
	●チームの団体年会費 (2016年度 団体正会員 or 団体一般会員)		
	●(エントリーミスによる出場種目の変更希望者のみ) 変更手数料	参加費の振込先と同様の口座	8月28日(日)当日消印有効

注)

※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。
 ※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けられない場合がありますのでご注意ください。
 ※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(チーム選出の認定審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。

<本選会>

本選に参加するチーム（予選免除者も含む）には、本選参加費が必要となります。

予選会通過後、必ず本選会参加申込データを提出いただきますとともに、本選会参加費をお振込くださいませうお願いいたします。

※本選会参加費の費用の算出は、本選会参加エントリーデータ内の合計金額を参照いただき、期限までのお振込をお願いいたします。

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
データ	●本選会参加エントリーデータ (エクセルデータ)	メール提出	9月26日(月)24:00 受信分まで
振込	●本選会参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、 手続き下さい	9月26日(月)当日消印有効

注) ※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。
※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。
※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。

■提出先

メール提出先 ; compe@jla.gr.jp

※必ず受信完了メールが届きます。1週間経っても JLA 事務局から受信完了メールが届かなければ、お手数ですがお電話にてお問合せ下さい。

郵送提出先 ; JLA 事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F

TEL : 03 (3459) 1445 / FAX : 03 (3459) 1446

(お問い合わせ時間 平日9:00-18:00 ※土日祝日は除く)

第42回全日本ライフセービング選手権大会 参加規定

1 参加資格

競技者の参加資格は下記の3点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会初日当日満15歳以上でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-2 競技者は、ライフセービング活動を志し、出場する競技会の過去1年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に25時間以上従事した者でなければならない。
- 1-3 競技者は、本協会の個人正会員、個人一般会員、もしくは個人高校生会員として登録されていなければならない(申請中も含む)。
- 1-4 競技者(一般)は、ベーシック以上の資格を所有していなければならない。
競技者(高校生)は、BLSおよびWS以上の資格を所有していなければならない。
(別紙「競技会参加規定とライフセービング資格連動の件 一部変更のお知らせ」
(一部変更)2016年2月9日版 を参照)

2 チーム構成

- 2-1 チームは、本協会の団体正会員、若しくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、1団体からの出場は1チームとする。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

3 チーム名

参加チーム名は団体正会員もしくは団体一般会員名とする。

4 出場登録

- 4-1 参加選手は個人種目、チーム種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目を登録しなければならない。なお、登録後の出場種目の変更及び未登録の種目への出場はできない。
- 4-2 登録種目数は、1人2種目を限度とする(但し、チーム種目、BLSアセスメントは除く)。

5 チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を1名おかななければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。

6 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持たなければならない。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、競技会の前に本協会にチームキャップ申請および登録されていなければならない。
※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。まだ登録をしていないクラブは申し込みの期限までに別紙チームキャップ申請書および登録書を届出しなければならない。
- 6-4 キャップは、競技者の識別や判定のために重要であるため、スタート前に紐をあごの下で留めて競技者の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7 参加費

- 7-1 参加費は、参加申し込みの締切日までに支払わなければならない。
- 7-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。

8 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則 2014 年版「第 7 章 器材」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 8-4 競技者は、主催団体から競技器材にステッカー等の標示を添付する指示があった場合は、それに従わなければならない。

9 競技規則

- 9-1 この他の競技規則は「ライフセービング競技規則（2014 年版）」に則って行う。

10 審判員の選出

- 10-1 中部、東日本、西日本の各予選に関しては、それぞれのチームが出場する予選会について参加チームは認定審判員を選出しなければならない。

11 代表者会議

- 11-1 大会開催に先立ち代表者会議を実施するので、チーム代表者は必ず出席すること。なお、やむをえずチーム代表者が出席できない場合は、同チームの参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

12 その他

- 12-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 12-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 12-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)